

あきる野民報

発行責任者/松平重幸 TEL&FAX 558-0718

住民の利益をまもり、「住民こそ主人公」のあきる野市政実現をめざして!

2009.8.16 No.515 (毎月2回発行)

日本共産党あきる野市委員会はつぎの見解を発表しました。

自公政権退陣させ

「国民が主人公」の新しい政治を

オープニングはハキダ詩で元気よく



消費増税は絶対許さず、大企業減税を元に戻し、軍事費にメスをいれて財源を確保し、まともな政治実現のため、なんとしても比例に日本共産党を浴び、演説会を終えました。

日本共産党日の出町議の折田真知子氏は、日の出町で実施している七十五歳以上の医療費無料化が、内外に大きな反響を呼び、視察者が絶えないと訴えました。

西多摩生活と健康を守る会(準備会)事務局長の長崎進氏は、毎日のように生活相談がある実態を話し、福祉施策の遅れを訴えました。

元気な八丈島太鼓で幕開けし、最初に西多摩ヘルパー労組委員長、清水藤太郎氏が高齢者福祉問題で訴えました。

日本共産党西多摩青梅地区委員会は八月七日青梅・霞共益会館ホールで「日本共産党大演説会」を開催しました。

谷川、鈴木両候補の訴えに

比例東京ブロック 東京25区

会場から活気、熱気、確信の拍手が

なんとしても国会へー

2議席、3議席を

東京の比例で

最後に登壇した東京ブロック比例予定候補の谷川智行氏は、自らの医師としての経験も話し、福祉施策の抜本的改革、派遣労働を止めさせルールある経済社会の確立を強調しました。

一人でも多くの人にこの声届け… 暑～い夏に「熱～く」訴える…



各支部のみなさんが奮闘中!

汗を拭きふき 電話での支持拡大に… 街角でマイクを握り… 駅頭でビラを手渡す

「もしもし」とかける一言世の福祉をきつと繕らす我が党にこそ 小林 富 作

傍聴記

見識示した、あきる野市教育委員会



7月22日、あきる野市教育委員会が開かれ、来年度から使用する中学校教科書の採択が行われました。この教育委員会に、多くの市民が傍聴したいと詰めかけ、溝口教育委員長の配慮で、29名全員が傍聴できました。

私達「子どもと教科書あきる野ネット21」の関心は、侵略戦争を美化し、現憲法の三原則より憲法の改正を教える、自由社版と扶桑社版の社会科「歴史」「公民」の教科書がどうなるかでした。5人の教育委員は慎重に、丁寧に論議し、結果は、2社の教科書は採択されず、どちらも現在使用の東京書籍版の教科書が採択されました。

帰りに20名ぐらいが市役所ロビーで感想を交流しました。「教育委員会はよく勉強している」「四年前の教科書採択の運動が生きている」などの感想が出されました。野辺・渡辺昭美

◆秋田県を通るJR羽後本線から分かれ、曾て矢島線が走っていました。矢島線は鳥海山麓にあるスキー場や温泉、湿原や法体の滝など遊興客に利用されてきました。山麓から見る鳥海山も見事な雄姿を見せています。しかし風光明媚な観光地も一年を通し訪れるわけもなくJRは矢島線を不採算を理由に見放し、今、第三セクターが鳥海山麓線として運行しています。◆市の中心街である羽後本庄駅へ山麓線を利用し学生は通学し、沿線で「秋田こまち」を生産する農家の人達は通院や買物で利用します。この山麓線の存続が地域の人達にとっては死活問題となってきました。観光客を如何に増やすか、地元住民のボランティアの人達が土産物を売り秋田を宣伝する姿は滑稽と思える程でしたが、交通の便を確保する必死の思いが伝わってきました。◆採算を理由にJRが路線を投げ捨て、住民の足など構っていないのが今の政治です。こうした国民不在の政治を変える機会が今月の総選挙です。(木崎)

野良望

「麻生発言」を除けば...

画期的だった 今年の原水爆禁止世界大会

広島・長崎で3日から9日まで開かれた2009年世界大会は5月のオバマ米大統領の発言を歓迎し、新しい確信と決意をみながらせていました。

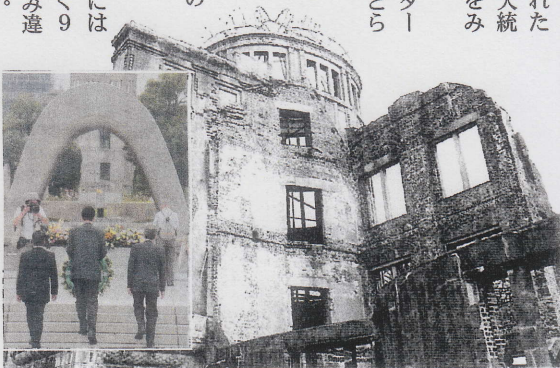
海外の代表は、「共同の努力のよいスタート(エジプト)と表現し、情勢の変化をとらえて前向きな討論がすめられました。

その根本にはねばり強い草の根の運動が—大会運営委員会代表

「核廃絶はもはや原水禁運動だけのスローガンではなくなった」「核超大国のリーダーをも動かすまでになった」と高草木代表が発言。

ところが、わが被爆国の首相が3日には「アメリカの核の傘が必要」と発言。続く9日には傷跡を「しよせき」とお得意の読み違いを披露。世界の空気をささ読み違える始末。

志位委員長も国際会議に参加。



豪雪・貧困・多病と闘う岩手・沢内村の村民が自力で老人医療費・乳児医療費無料化を実施...奮闘...のドラマが遂に映画に。

10月17日秋川キララホールで上映が決定。



映画「いのちの山河～日本の青空II」

あきる野 上映会 発足集会

とき 8月22日(土)午後1:30分開場

ところ 中央公民館音楽室

特別講演 ●元ワイドショープロデューサーが「東国原」問題などのマスコミ報道を鋭く切る!

仲築間 卓蔵氏



元日本テレビ労組委員長。「ルックルックこんにちは」「ザ・ワイド」などプロデュース。現在日本ジャーナリスト会議員、「マスコミ9条の会」呼びかけ人。「赤旗日曜版」に「メディアを読む」を連載中。映画「いのちの山河」製作上映運動を推進



多くのみなさんのお力で上映運動を成功させましょう。団体、個人のご参加で上映会を発足させます。どうか多数のご参加を——。

主催 あきる野「いのちの山河」上映会 準備会

事務局 山西善子(☎042-559-2737 FAX042-550-1864)

憲法第25条

1. 全て国民は健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。
2. 国はすべての生活部面について社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない。

山 柳

麻生さんオウンゴールが得意技 都知事には痛の目付けの8議席 原爆忌オハマの言葉際立てり 麻生ふりヒロシマ市長が総理かど

西川昇 西川昇 松籟坊 松籟坊

絵手紙/瀬川和子さん・牛沼在住



俳句

(季語)川床 冷房装置のない江戸時代では、河原で涼む事が盛んでした。特に京都では河原に棧敷を張り、料理を出して納涼客をもてなしました。その習慣は今でも残っています。

青田道風に途切れし遠囃子 (和恵) 張り出せし川床の下魚影かな (照代) 用水の二手に分かれ恋蜜 (つや) 昼寝の子風のまつはる額かな (勝代) 大地より湧く草いきれ卑吹呼塚 (淑子) 炎天に立つ大嶽山の青さかな (かほる) 緑さす奥多摩の水色探し (るり子) 夕焼や家並の影のシルエット (静子) 濼めぐる舟の出てゆき夕涼し (秀治)

歴史探訪

第95回

地名考・小川 ③

公図による小川の小字は二十八ヶ所あります。よく知られている小字では、エル図書館や前田耕地のある「前田」です。文字通り判断すると「特定の場所の前にある田圃」となります。しかし極く一般の田圃が地名として残るとは考え難いので、意義のある特定の場所の前にある田圃と考えるのが妥当だと思います。現在、野辺と小川の境界が複雑に入り組んでいますが、「前田」は宝清寺や熊野神社北側一帯です。

前田の地名は全国的に少ないと云われていますが、田に関係し後田・横田と一緒に、ある特定の場所から見た前・後・横にある田圃を指していると考えられます。一八八五年(明十八)の「地名索引」では全国で七ヶ所挙げられていますが、特定の場所とは何か、寺・神社・豪族の館が考えられます。また地名として残るには上質の田圃でなくてはならず、即ち上田であった筈です。仮に神社の前の田圃とすれば、それは神の田であったに違いありませんし、或いは小川は近辺で最も古い村と云われていますので、支配階級の豪族が任んでいた特別の屋敷があったと考えても不自然ではありません。小川を本拠地とする鎌倉御家人として発展した小川氏の居館としても考えられます。宝清寺境内を中世の小川城とすると、その北側一帯に上質の田圃があり、「前田」と呼ばれるようになったのかも知れません。(続く) 草花・木崎秀治



法林寺